

## 経営情報学会 2019 年春季全国研究発表大会

遠山正朗（とおやま まさお）  
徐春暉（じょ はるき）  
千葉工業大学

2019 年春季全国研究発表大会は、6 月 22 日・23 日の両日、千葉工業大学新習志野キャンパスにおいて、「X-Tech 時代の経営情報科学」を大会テーマとして開催されました。

大会は同キャンパスの 1 号館、7 号館、13 号館を使い、1 日目はポスターセッション、開会式、表彰式、基調講演、特別講演、ランチョンキャリアセミナー、研究発表会、企業事例セッション、そして懇親会が行われました。2 日目は特別セミナー、ランチョンセミナー、学会賞講演、研究発表会が行われました。天候にも恵まれ、会員・非会員合わせて、約 200 名の参加者が集う盛会となりました。

### 1. 大会テーマと基調講演・特別講演

本大会では「X-Tech 時代の経営情報科学」を大会テーマとしました。大会 1 日目の午後には、基調講演、特別講演とも 1 号館を会場としてご講演いただきました。

基調講演では株式会社野村総合研究所コンサルティング事業本部アナリティクス事業部長の石綿昌平氏が、「デジタル資本主義時代を勝ち抜くためのビジネス再定義力」というテーマでご講演くださいました。

基調講演に続きまして、特別講演では株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループデジタル企画部長（特命担当）の佐伯信一氏が、「フィンテックの最新動向」というテーマでご講演くださいました。

### 2. ポスターセッション

大会 1 日目の午前中にポスターセッションが開催されました。13 件の報告が行われ、熱心で活発な質疑応答がなされました。

その後の審査の結果、学生優秀発表賞には次の 2 件が選ばれました。

ひとつは、佐々木誠治氏発表による、佐々木誠治



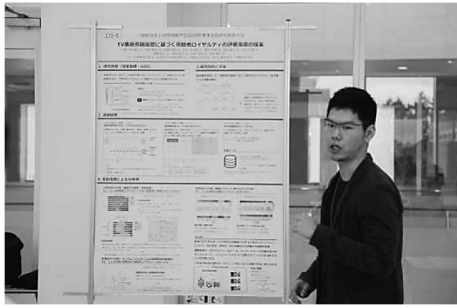
石綿氏と井上大会委員長



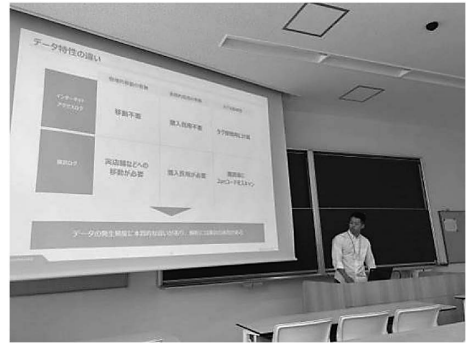
開会前の 1 号館の様子



佐伯氏と木嶋前会長



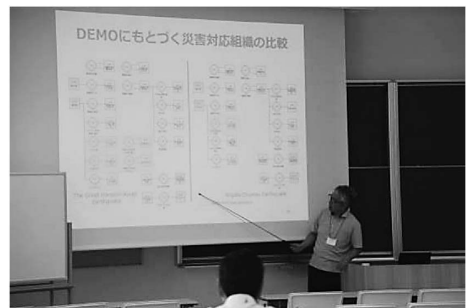
ポスターセッション



企業事例セッション



表彰式での記念撮影



特別セミナー

(岩手県立大学), 阿部蕉太 (岩手県立大学大学院), 高島悠佑 (岩手県立大学大学院), 石丸悠太郎 (大阪府立大学), 藪内天貴 (金沢工業大学), 金井宙斗 (大東文化大学), 川上広海 (大東文化大学), 後藤裕介 (岩手県立大学), 森田裕之 (大阪府立大学), 石原正彦 (金沢工業大学), 白井康之 (大東文化大学)「TV 番組視聴履歴に基づく視聴者ロイヤルティの評価指標の提案」です。

ひとつは、日出間健氏発表による、日出間健 (東京都市大学大学院), 岡田公治 (東京都市大学)「ビール業界の新ジャンル移行期における経営施策の業績影響メカニズムのシミュレーションモデリング」です。

これらの受賞について、1日目午後の表彰式で表彰されました。

### 3. 企業事例セッション

大会1日目の午前中に企業事例セッションが開催されました。企業事例セッションは、産業界の方に経営情報学に関わる企業での実践例や経営情報学に

関わる技術・サービスをご紹介いただくことで他企業や学識者との情報交換・交流の促進を目指したものです。株式会社マクロミルの斉藤武史氏による「発生/収集における時間概念が相違するデータの直接比較：購買ログとアクセスログの関係性について」が経営情報学会2019年春季全国研究発表大会企業事例セッション優秀報告賞に選ばれました。

### 4. ランチョンキャリアセミナー

大会1日目の昼休みには、ランチョンキャリアセミナーを開催しました。ランチョンキャリアセミナーは、学生が企業のこと、実際の仕事の内容を知る機会を提供する企画です。株式会社アトラスにご参加いただき、大変盛況でした。

### 5. 特別セミナー

大会2日目の午前中には、東京工業大学工学院経営工学系教授の飯島淳一氏による特別セミナー



ランチオンセミナー

(チュートリアル)「DEMO—企業活動の骨格を可視化するモデリング方法論—」が行われました。

## 6. ランチオンセミナー

大会2日目の昼休みには、お昼の時間を有効に活用していただこうと、NTTデータ数理システム営業部の前田健斗氏から「データ分析ツールのご紹介～企業経営におけるデータ分析の活用～」というテーマで昼食が提供されるセミナーを開催していただきました。定員を設けての開催でしたが大変盛況でした。

## 7. 学会賞講演

大会2日目の午後には、長野大学企業情報学部教授の木村誠氏による学会賞講演が行われました。

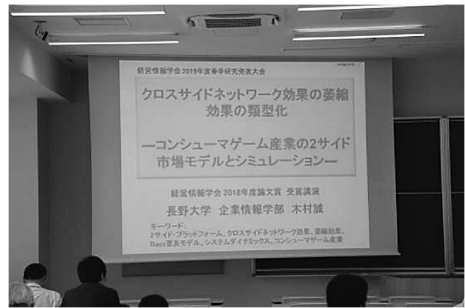
同氏は「クロスサイドネットワーク効果の萎縮効果の類型化—コンシューマゲーム産業の2サイド市場モデルとシミュレーション—」(経営情報学会誌, Vol. 26, No. 3, December 2017)で学会賞を受賞されました。

研究の経緯や今後のことなど、論文には記されていないことまで幅広くご講演くださいました。

## 8. 一般報告

2日間を通じて、以下のセッションにわかれ、報告者と参加者のあいだで活発な質疑応答が行われました。

1日目：政府・自治体、イノベーション、プロ



学会賞講演



学会賞講演

ジェクトマネジメント、組織、情報システム、マーケティング&企業事例セッション

2日目：人材・能力開発、EC/eビジネス、意思決定、経営戦略(1)、ビジネスモデル、経営戦略(2)、モデル・モデリング、教育・学習、金融・ファンディング、テキストマイニング・ナレッジマネジメント、サプライチェーンマネジメント実現のための学際的能力基盤、東海支部&人間尊重のマネジメントの心理・行動的側面研究部会、官の情報システム研究部会、IT-CMF研究会、IT資産価値研究部会

## 9. 懇親会

懇親会は大会1日目の17時30分から、新習志野キャンパス13号館で開催されました。懇親会にも多くの方に参加をいただき、有意義な時間となりました。

懇親会では、妹尾新会長からは新企画のご紹介があり、次回大会の遊橋大会委員長からは大会テーマ



妹尾新会長（懇親会にて）

のご紹介がありました。

次回大会は「デジタルトランスフォーメーション（DX）が拓く新たな地平」をテーマに、静岡大学で開催されます。

2019年春季全国研究発表大会を盛況のうちに終了することができたのは、木嶋前会長、妹尾会長はもとより、スタッフ一同、学会理事、発表会の座長はじめすべての関係者のご尽力の賜物と感謝申し上げます。